

救助工作車（レスキュー車）更新

消防本部では、長年活躍した救助工作車が老朽化したため、車両整備計画に基づき最新型の車両に更新し、12月から東消防署に配備運用しています。

救助工作車は、主に救助隊員（レスキュー隊員）が搭乗し、人命救助活動に対応するための様々な最新鋭資機材を積載した消防車両です。

主要諸元		主要装備
車種	日野レンジャー	ウィンチ前後引き、 クレーン、油圧救助器具、 三連梯子、救命索発射銃、 エアージャッキ、 簡易画像探査装置 等
駆動方式	低床4輪駆動	
総重量	10,560kg	
総排気量	6,400cc	
乗車定員	6人	



救助工作車のカラーリング

常陸大宮の頭文字『H』を、全国的に救助工作車に描かれている稲妻模様（稲妻）に図案化しました。稲妻模様には、『電光石火の出動、技の冴え』という意味があります。

また、車両後部両脇に常陸大宮市の鳥である「カワセミ」のシルエットが描かれています。

消防救助隊（レスキュー隊）



消防本部では、各種災害に対処し人命被害を軽減するための部隊『消防救助隊（レスキュー隊）』を配置しています。救助隊員は、隊長以下16人の隊員で編成されていて、火災をはじめとする各種災害においての人命救助活動に対応しています。

救助隊員の服装は、摩擦などに強い素材を使用し、暗い中でも目立つオレンジ色の活動服を着用しています。